

3 農業に係る各種対策等の推移

区 分	単 位	戸別所得補償モデル対策																			
		平成22年度																			
支 払 面 積																					
米 (10 a 控 除 前) (1)	ha	1)	1,127,040																		
麦 (2)	"		166,300																		
大 豆 (3)	"		112,003																		
飼料作物 (WCS用稲除く) (4)	"		95,670																		
米 粉 用 米 (5)	"		4,920																		
飼 料 用 米 (6)	"		14,773																		
W C S 用 稲 (7)	"		15,878																		
そ ば (8)	"		31,346																		
な た ね (9)	"		759																		
加 工 用 米 (10)	"		38,374																		
そ の 他 (11)	"		129,404																		
予 算 額 (当 初) (12)	億円	2)	5,538																		
支 払 金 額 (13)	億円	2)	4,958																		
支払面積及び支払金額は平成23年5月13日公表値。																					
交 付 金 等 価 (14)			<p>1 米戸別所得補償モデル事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>単価 (10 a 当たり)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定額部分</td> <td>15,000円 (標準的な生産に要する費用と標準的な販売価格の差額相当分の助成)</td> </tr> <tr> <td>変動部分 ※</td> <td>15,100円(実績) (米価変動に対応した助成)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 当年産の販売価格が標準的な販売価格を下回った場合、その差額を基に交付単価を算定。</p> <p>2 水田利活用自給力向上事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作 物</th> <th>単価 (10 a 当たり)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>麦、大豆、飼料作物</td> <td>35,000円 ※1</td> </tr> <tr> <td>米粉用・飼料用・バイオ燃料用米、WCS用稲</td> <td>80,000円</td> </tr> <tr> <td>そば、なたね、加工用米</td> <td>20,000円 ※1</td> </tr> <tr> <td>その他作物 (都道府県単位で単価設定)</td> <td>10,000円 ※2</td> </tr> <tr> <td>二毛作助成 (主食用米と戦略作物又は戦略作物同士の組み合わせ)</td> <td>15,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 農業者への実際の交付単価は地域での調整により変更となった地域がある。 ※2 標準単価10,000円/10a。都道府県単位で対象作物・単価を設定。</p>	区分	単価 (10 a 当たり)	定額部分	15,000円 (標準的な生産に要する費用と標準的な販売価格の差額相当分の助成)	変動部分 ※	15,100円(実績) (米価変動に対応した助成)	作 物	単価 (10 a 当たり)	麦、大豆、飼料作物	35,000円 ※1	米粉用・飼料用・バイオ燃料用米、WCS用稲	80,000円	そば、なたね、加工用米	20,000円 ※1	その他作物 (都道府県単位で単価設定)	10,000円 ※2	二毛作助成 (主食用米と戦略作物又は戦略作物同士の組み合わせ)	15,000円
区分	単価 (10 a 当たり)																				
定額部分	15,000円 (標準的な生産に要する費用と標準的な販売価格の差額相当分の助成)																				
変動部分 ※	15,100円(実績) (米価変動に対応した助成)																				
作 物	単価 (10 a 当たり)																				
麦、大豆、飼料作物	35,000円 ※1																				
米粉用・飼料用・バイオ燃料用米、WCS用稲	80,000円																				
そば、なたね、加工用米	20,000円 ※1																				
その他作物 (都道府県単位で単価設定)	10,000円 ※2																				
二毛作助成 (主食用米と戦略作物又は戦略作物同士の組み合わせ)	15,000円																				

資料：農林水産省政策統括官資料による。

注： 1)については、米戸別所得補償モデル事業の交付対象面積は、主食用米の作付面積から自家飯米・縁故米用に供される分として申請1件あたり一律10aを控除して算定される。

2)については、米戸別所得補償モデル事業及び水田利活用自給力向上事業を合算したものの。

区 分	単 位	農 業 者 戸 別 所 得 補 償 制 度	
		平 成 23 年 度	平 成 24 年 度
支 払 面 積		(米、水田活用の所得補償交付金)	(米、水田活用の所得補償交付金)
米 (10 a 控 除 前) (1)	ha	1) 1,128,201	1) 1,134,131
麦 (2)	"	169,665	165,955
大 豆 (3)	"	111,069	105,338
飼料作物 (WCS用稲除く) (4)	"	100,881	102,239
米 粉 用 米 (5)	"	7,263	6,372
飼 料 用 米 (6)	"	33,758	34,316
W C S 用 稲 (7)	"	22,856	25,410
そ ば (8)	"	35,260	37,150
な た ね (9)	"	643	535
加 工 用 米 (10)	"	27,494	32,448
支 払 数 量		(畑作物の所得補償交付金)	(畑作物の所得補償交付金)
小 麦 (11)	t	700,727	824,741
二 条 大 麦 (12)	"	55,757	44,352
六 条 大 麦 (13)	"	30,504	38,901
は だ か 麦 (14)	"	12,141	11,187
大 豆 (15)	"	181,391	198,387
て ん 菜 (16)	"	3,538,422	3,649,972
でん粉原料用ばれいしょ (17)	"	727,435	772,607
そ ば (18)	"	27,654	39,984
な た ね (19)	"	1,628	1,637
予 算 額 (当 初) (20)	億円	2) 6,496	2) 6,496
支 払 金 額 (21)	億円	2) 5,366	2) 5,603

※支払面積、支払数量及び支払金額は各年6月28日公表値。

1 米の所得補償交付金及び米価変動補填交付金

区分	単価 (10 a 当たり)
米の所得補償交付金	15,000円 (標準的な生産に要する費用と標準的な販売価格の差額相当分の助成)
米価変動補填交付金 ※	0円 (平成23産及び24年産実績) (米価変動に対応した助成)

※ 当年産の販売価格が標準的な販売価格を下回った場合、その差額を基に交付単価を算定。

2 水田活用の所得補償交付金

作 物	単価 (10 a 当たり)
麦、大豆、飼料作物	35,000円
米粉用米、飼料用米、WCS用稲	80,000円
そば、なたね、加工用米	20,000円
二毛作助成 (主食用米と戦略作物助成の対象作物、又は戦略作物助成の対象作物同士の組み合わせ)	15,000円
耕畜連携助成 (耕畜連携の取組 (わら利用、水田放牧、資源循環) に対する助成)	13,000円
産地資金 (地域の実情に即して、戦略作物助成の対象作物の生産性向上等の取組や地域振興作物、備蓄米の生産を支援)	※都道府県又は地域農業再生協議会毎に助成内容を設定。

3 畑作物の所得補償交付金

【数量払】

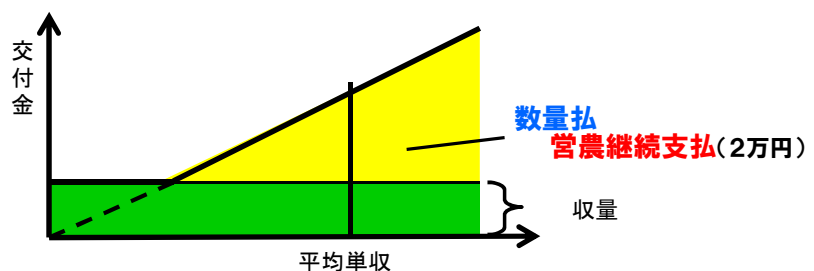
対 象 作 物	平均交付単価
小麦	6,360円/60kg
二条大麦	5,330円/50kg
六条大麦	5,510円/50kg
はだか麦	7,620円/60kg
大豆	11,310円/60kg

対 象 作 物	平均交付単価
てん菜	6,410円/ト
でん粉原料用ばれいしょ	11,600円/ト
そば	15,200円/45kg
なたね	8,470円/60kg

※ 小麦については、パン・中華麺用品種を作付けた場合は、数量払に2,550円/60kgを加算。

【面積払 (営農継続支払)】 ※前年産の生産面積に基づき交付 (2万円/10 a)。

(畑作物の所得補償交付金のイメージ)



資料：農林水産省政策統括官資料による。

注：1)については、農業者戸別所得補償制度の交付対象面積は、主食用米の作付面積から自家消費等分として申請1件あたり一律10aを控除して算定したものの。

2)については、米の所得補償交付金、水田活用の所得補償交付金、畑作物の所得補償交付金及び加算措置を合算したものの。

交 付 単 金 等 価 (22)

区 分	単 位	経 営 所 得 安 定 対 策 等	
		平 成 25 年 度	
支 払 面 積		(米、水田活用の直接支払交付金)	
米 (10 a 控 除 前) (1)	ha	1)	1,135,609
麦 (2)	"		165,295
大豆 (3)	"		103,327
飼料作物 (WCS用稲除く) (4)	"		102,514
米粉用米 (5)	"		3,915
飼料用米 (6)	"		21,754
WCS用稲 (7)	"		26,353
そば (8)	"		37,130
なたね (9)	"		582
加工用米 (10)	"		37,341
支 払 数 量		(畑作物の直接支払交付金)	
小麦 (11)	t		779,589
二条大麦 (12)	"		46,893
六条大麦 (13)	"		45,862
はだか麦 (14)	"		13,808
大豆 (15)	"		167,894
てん菜 (16)	"		3,434,734
でん粉原料用ばれいしょ (17)	"		762,795
そば (18)	"		30,218
なたね (19)	"		1,497
加 入 件 数 (20)	件	2)	69,774
補 填 件 数 (21)	"	2)	1,234
予 算 額 (当 初) (22)	億円	3)	6,273
支 払 金 額 (23)	億円	3)	5,398

※支払面積、支払数量及び支払金額 (収入減少影響緩和交付金を除く) は平成26年6月27日公表値に基づく。加入件数、補填件数及び支払金額 (収入減少影響緩和交付金) は平成25年9月20日公表値に基づく。

1 米の直接支払交付金及び米価変動補填交付金

区分	単価 (10a 当たり)
米の直接支払交付金	15,000円 (標準的な生産に要する費用と標準的な販売価格の差額相当分の助成)
米価変動補填交付金 ※	0円 (平成25年産実績) (米価変動に対応した助成)

※ 当年産の販売価格が標準的な販売価格を下回った場合、その差額を基に交付単価を算定。

2 水田活用の直接支払交付金

対象作物等	単価 (10a 当たり)
麦、大豆、飼料作物	35,000円
米粉用米、飼料用米、WCS用稲	80,000円
そば、なたね、加工用米	20,000円
二毛作助成 (主食用米と戦略作物助成の対象作物、又は戦略作物助成の対象作物同士の組み合わせ)	15,000円
耕畜連携助成 (耕畜連携の取組 (わら利用、水田放牧、資源循環) に対する助成)	13,000円
産地資金 (地域の実情に即して、戦略作物助成の対象作物の生産性向上、地域振興作物や備蓄米の生産の取組等を支援)	※ 都道府県又は地域農業再生協議会毎に助成内容を設定。

3 畑作物の直接支払交付金

【数量払】

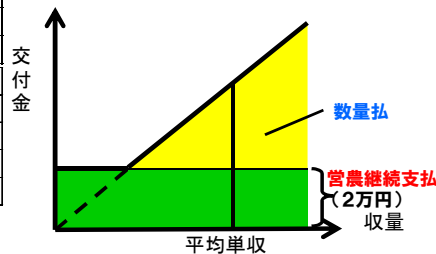
対象作物	平均交付単価
小麦	6,360円/60kg
二条大麦	5,330円/50kg
六条大麦	5,510円/50kg
はだか麦	7,620円/60kg
大豆	11,310円/60kg
対象作物	平均交付単価
てん菜	6,410円/㎡
でん粉原料用ばれいしょ	11,600円/㎡
そば	15,200円/45kg
なたね	8,470円/60kg

※ 小麦については、パン・中華用用品種を作付けた場合は、数量払に2,550円/60kgを加算。

【面積払 (営農継続支払)】

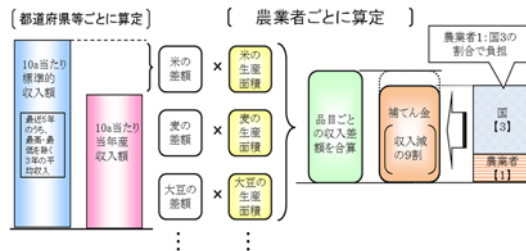
※前年産の生産面積に基づき交付 (2万円/10a)。

(畑作物の直接支払交付金のイメージ)



4 収入減少影響緩和交付金

米、麦、大豆、てん菜、でん粉原料用ばれいしょの当年産収入額の合計が、過去の平均収入である標準的収入額を下回った場合に、その差額の9割を、対策加入者と国が1対3の割合で拠出した積立金から補填。



資料：農林水産省政策統括官資料による。

注：1)については、経営所得安定対策の交付対象面積は、主食用米の作付面積から自家消費等分として申請1件あたり一律10aを控除して算定される。

2)については、平成24年産における件数。

3)については、米の直接支払交付金、水田活用の直接支払交付金、畑作物の直接支払交付金、収入減少影響緩和交付金及び再生利用交付金を合算したものの。

区 分	単 位	経 営 所 得 安 定 対 策 等	
		平 成 26 年 度	
(米、水田活用の直接支払交付金)			
支 払 面 積			
米 (10 a 控 除 前) (1)	ha	1)	1,089,278
麦 (2)	"		167,451
大 豆 (3)	"		105,690
飼料作物 (WCS用稲除く) (4)	"		101,736
WCS用稲 (5)	"		30,669
米 粉 用 米 (6)	"		3,372
飼 料 用 米 (7)	"		33,885
加 工 用 米 (8)	"		48,051
そ ば (9)	"		34,735
な た ね (10)	"		497
(畑作物の直接支払交付金)			
支 払 数 量			
小 条 麦 (11)	t		820,483
二 条 大 麦 (12)	"		49,189
六 条 大 麦 (13)	"		41,275
は だ か 麦 (14)	"		13,806
大 豆 (15)	"		200,634
て ん 菜 (16)	"		3,566,452
でん粉原料用ばれいしょ (17)	"		788,266
そ ば (18)	"		27,477
な た ね (19)	"		1,599
(収入減少影響緩和交付金)			
加 入 件 数 (20)	件	2)	67,073
補 填 件 数 (21)	"	2)	31,876
予 算 額 (当 初) (22)	億円	3)	6,428
支 払 金 額 (23)	億円	3)	5,147

※支払面積、支払数量及び支払金額（収入減少影響緩和交付金を除く）は平成27年6月26日公表値に基づき、加入件数、補填件数及び支払金額（収入減少影響緩和交付金）は平成26年9月26日公表値に基づき。

1 米の直接支払交付金

交付単価 (10a 当たり)	
7,500円	
(10a当たりの単価 (全国一律) で直接交付。交付対象面積は、主食用米の作付面積から一律10a控除して算定)	

2 水田活用の直接支払交付金

対 象 作 物 等	単 価 (10a 当たり)
麦、大豆、飼料作物	35,000円
WCS用稲	80,000円
加工用米	20,000円
飼料用米、米粉用米	収量に応じ、55,000円～105,000円
二毛作助成 (主食用米と戦略作物助成の対象作物、又は戦略作物助成の対象作物同士の組み合わせ)	15,000円
経営連携助成 (経営連携の取組 (飼料用米のわら利用、水田放牧、資源循環) を支援)	13,000円
産地交付金 (地域が策定する「水田フル活用ビジョン」に基づき、①水田における麦、大豆等の生産性向上の取組、②地域振興作物や備蓄米の生産の取組等を支援)	※ 都道府県又は地域農業再生協議会等に助成内容を設定。

3 畑作物の直接支払交付金

【数量払】※交付単価は品質に応じて増減。

対 象 作 物	平 均 交 付 単 価
小麦	6,320円/60kg
二条大麦	5,130円/60kg
六条大麦	5,490円/60kg
はだか麦	7,380円/60kg
大豆	11,660円/60kg

対 象 作 物	平 均 交 付 単 価
てん菜	7,260円/㎡
でん粉原料用ばれいしょ	12,840円/㎡
そば	13,030円/45kg
なたね	9,640円/60kg

注：1 小麦については、パン・中華用品種を作付けた場合は、数量払に2,550円/60kgを加算。
2 てん菜の基準糖度は、16.3度。
3 でん粉原料用ばれいしょの基準でん粉含有率は、19.5%。

4 収入減少影響緩和交付金

米、麦、大豆、てん菜、でん粉原料用ばれいしょの当年産収入額の合計が、過去の平均収入である標準的収入額を下回った場合に、その差額の9割を、対策加入者と国が1対3の割合で拠出した積立金から補填。

〔都道府県等ごとに算定〕

10a当たり標準的収入額

10a当たり当年産収入額

差額 (収入減少)

〔農業者ごとに算定〕

米の差額 × 米の生産面積

麦の差額 × 麦の生産面積

大豆の差額 × 大豆の生産面積

てん菜の差額 × てん菜の生産面積

でん粉原料用ばれいしょの差額 × でん粉原料用ばれいしょの生産面積

品目ごとの収入減少額を合算

補てん金 (収入減少の9割)

国 [3] 農業者 [1] の割合で負担

(畑作物の直接支払交付金のイメージ)

資料：農林水産省政策統括官資料による。

注：1)については、経営所得安定対策の交付対象面積は、主食用米の作付面積から自家消費等分として申請1件あたり一律10aを控除して算定される。

2)については、平成25年産における件数。

3)については、米の直接支払交付金、水田活用の直接支払交付金、畑作物の直接支払交付金、収入減少影響緩和交付金及び再生利用交付金を合算したものの。